

研究課題名	法医剖検試料中における漢方薬成分の分析
研究の意義・目的	漢方薬は病院における処方および市販薬として薬局で販売されているため、身近に入手可能な薬としてよく使用されています。質量分析装置(LC/MS)により各剖検例から得られた体液中または組織中の漢方薬成分の分析を行い、法医剖検例における各種漢方薬の摂取傾向や死因への影響、さらには薬物動態などを明らかにします。
研究を行う期間	倫理委員会承認後～ 2026年3月
研究協力をお願いしたい方(対象者)	2010年1月～2025年12月に大阪公立大学医学部法医学で、司法解剖された方が対象となります。
協力をお願いしたい内容と研究に使わせていただく試料・情報等の項目	死因鑑定の過程で得られた下記項目を本研究に使用させてください。 試料：【血液、尿、心膜液、硝子体液、左右胸腔内液、腹腔内液、脳脊髄液などの体液試料、脳、肝臓、腎臓などの組織試料】 診療情報等：【年齢、性別、死因、死後経過時間、発病後経過時間、薬物入手状況(病院処方など)】
試料・情報の他機関への提供	この研究は大阪公立大学医学部法医学のみで行い、他の施設に試料・情報は提供いたしません。
この研究を行っている共同研究機関	この研究は大阪公立大学医学部法医学のみで行います。
試料・情報を管理する責任者	大阪公立大学大学院医学研究科 法医学 研究責任者 谷 直人
本研究の利益相反	利益相反の状況については大阪公立大学利益相反マネジメント委員会に報告し、その指示を受けて適切に管理します。 本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。
研究に協力をしたくない場合	下記に連絡することでいつでも本研究への協力を拒否することができます。
連絡先	大阪公立大学大学院医学研究科 法医学 (担当者氏名) 谷 直人 メールアドレス： <a href="mailto:_gr-med-legalmed@omu.ac.jp">_gr-med-legalmed@omu.ac.jp</a>